

ご挨拶に代えて

- 日弁関係担当委員会報告 -



日本弁理士会副会長 矢崎和彦

日本弁理士クラブの皆様には、常日頃からお世話になりありがとうございます。特に以下の方々にはお世話になっております。

昨年11月からは、波多野久委員長（春秋）の下、次年度会務検討委員会を週1回3月まで行い、2月には1泊2日にて焼津で有意義な合宿を行いました。

笹島富二雄会長（春秋）の下、下坂スミ子総括副会長（無名）他の副会長と共に、4月から船出をし、早くも半年（？）が過ぎました。伊藤高英副会長（春秋）及び柴原史生副会長（南甲）は、私と同期合格（54会）で、何かと心強く、頼りになります。

私は、財務担当として、2月頃から予算案を作成し、幸田全弘議長（南甲）による総会では、皆様のご協力により無事平成14年度予算が承認されました。ありがとうございました。さらに、研修関係等で補正予算が必要となると思われませんが、その際にもよろしく願い致します。また、財務関係の問題としては、外国代理人手数料の立替金に対して国税局が源泉徴収を行うとの問題が起きました。関係各位のご協力により、本誌が発行される頃には、国税庁から適正な結果が出ていると思います。さらに、新会館問題も起こっており、どのように対処されるか注目されるところです。以下、担当委員会等関係です。

監事会では、稲木次之監事長（稲門）の下、毎月1回、前月の会計・会務を監査されます。外部監事3名からは外から見た点についてご質問を頂き、会務に大変参考となるものです。

中央知的財産研究所は、木戸一彦所長（春秋）の下、現在は、研究課題を東京で「不正競争防止法関

係問題」及び「クレーム解釈論」、大阪で「特許を受ける権利」を検討しております。さらに、大きな論点からの課題について検討を開始する予定です。

木内光春財務委員長（稲門）の下、諮問事項「会員の国外派遣支出規程の保険料見直しについて」については、日数により段階的に高額とする答申書を頂きました。その他、「ペイオフ」問題等を検討しております。

福田賢三福利厚生共済委員長（P A）の下、毎月、給付金の決済を行い、その他、例年通り、健康診断、献血会を行いますので、よろしくご協力の程、お願い申し上げます。さらに、昨年度の共済事業アンケートに基づいて詳細な検討を行っております。

藤倉大作商標委員長（南甲）の下、例年通り、商標に関する諸問題を検討しております。指定商品・役務の補正と手数料に関する要望書を特許庁へ提出しました。本書が発行される頃には、何らかの回答が来ていると思います。SCT国際会議へ香原修也副委員長（無名）及び外川奈美副委員長（春秋）が出席しました。また、諮問事項として「権利取得あるいは権利侵害に関して弁理士の専門知識及びノウハウが活かされた具体的事例の収集」判定制度について」を途中からあげ、これらは意匠委員会にも同様に追加しました。

中村知公意匠委員長（P A）の下、例年通り、意匠に関する諸問題を検討しております。昨年度答申書「インフォメーションデザイン」をホームページに掲載することとしました。意匠課とも既に2回ほど懇談会を持ち積極的に検討課題解決に取り組んでおります。